

# ふれあい情報

2022年 11月 28日 (月) 第354号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 野田 那智子  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



あいさつする人見会長 連合会館3階会議室

## 第2回幹事会を開催

11月16日 連合会館

11月16日、日本退職者連合は連合会館において第2回幹事会を開催しました。会議ではこの間の取り組みの報告が行われ、各ブロック、連合本部からもそれぞれ報告が行われました。その後、今後の取り組みについて協議を行い、来年2月の「2023年政策制度要求実現・院内集会」などの開催を確認しました。会議の後半では、淑徳大学の結城康弘教授をお迎えし、介護保険制度についての学習会を行いました。

### 人見会長あいさつ

「戦争をしない国」として  
 近隣諸国との共存を！

新型コロナウイルスの第8波が始まっています。政府は緊急事態宣言を出さず、ウイズコロナで行くようですが、私たちも予防を心掛けていきたいと思っています。今朝、ロシア製のミサイルがポーランドに着弾したという報道がありました。どういふことなのかまだはつきりしませんが、場合によってはヨーロッパの戦争につながる危険もあります。アメリカが対応しないと難しいと

ころがあります。一日も早く話し合いで停戦への道筋をつける必要があります。

臨時国会が開催されています。すでに二人大臣が辞め、総務大臣も政治資金をめぐる辞めざるを得ない情勢です。第二次補正予算は当初25兆円だったのが一夜にして29兆円になり、何に使うのかも明らかにしないまま予備費が計上されるなど、でたらめな予算編成です。しかもその財源は新たに国債を22兆円発行し、子や孫に負担を先送りしています。

来年度の予算編成も、防衛費の対GDP比2%が独り歩きして、所得税や法人税の引き上げが検討されています。日本は長年専守防衛で来ましたが、今やまったく変わりがつあり、軍拡への道を進んでいます。3千キロも飛行するトマホークを購入して、戦争の準備をしていくような方向には反対していくことが大事だと思っています。戦後77年。日本は「戦争をしない国」として近隣の国々と平和的に共存する、そういう道を明確にして外交的な

### <幹事会で確認された今後の日程>

- ★2月15日(水) 13時30分 全国事務局長会議  
連合会館2階 大会議室
- ★2月16日(木) 10時 政策制度要求2.16院内集会  
参院議員会館1階講堂(予定)
- ★3月8日(水) 13時 ジェンダー平等に向けた学習会  
連合会館2階 大会議室
- \*1月18日(水) 予定の「新春の集い」は中止します。

努力をしていくことが必要だと思えます。それに逆行する岸田政権の政治に対しては、厳しく批判していく必要があると考えます。

今後の国会運営、予算編成の中で、社会保障がどうなっていくのか、全世代型社会保障構築会議で議論が進んでいます。私たちの目指す、誰もが安心して地域で平和に暮らせる社会をめざして取り組んでまいります。

ブロックかたの報告

北海道ブロック

10月3日に野田事務局長を講師に女性集会を開催、女性48人男性13人が参加した。10月7日には定期総会を開催し、野党共闘や組織拡大、国葬などについて議論。

東北ブロック

10月30日投開票の福島県知事選では推薦した内堀候補が当選。各県の状況は資料をお読み取りください。

関東ブロック

茨城は女性に関する集会や研修会をがんばっている。ブロックとしてもこのような取り組みを進めたい。東京では2月2日に有田芳生氏を招いて勉強会を予定。

東海ブロック

愛知は本日定期総会。静岡は空席だった会長が就任予定。三重は12月21日に副知事との懇談会を予定している。岐阜は議案書にジェンダー平等が入った。県議選では

候補を増やす予定。長野は早川副事務局長を招いて講演会を実施。11月4日に地域退連との意見交換会を実施。

北陸ブロック

ジェンダー学習会を予定したが再スタートになった。それを機会に各県状況について意見交換を実施。

近畿ブロック

10月18日にブロック総会を実施。万博については費用が相当膨らんでいる。各府県から女性幹事を一人ずつ選んだが効果がある。ハイキングも実施し、千人が参加した。

中国ブロック

3年ぶりにブロック幹事

会を開催予定。これを機に再スタートしたい。鳥取は来年ジェンダー平等の学習会を開催予定。山口は地区連の再結成を目指している。岡山、山口が総会を予定。

四国ブロック

香川は総会を実施し、会長が交代。徳島は「探検の秋」というハイキングを実施。高知は総会を実施。愛媛は自治体要請を進めている。

九州ブロック

ジェンダー平等学習会を実施。各県でもこれを契機に前向きに進めようという確認をした。福岡は11月9日に定期総会、30周年記念祝賀会を実施した。

役員の交代がありました

～新役員の皆さん～

<副会長>

菰田義憲さん (JP 労組退)  
田村雅宣さん (IKI IKI ライフクラブ)

<常任幹事>

畠山幸子さん (日退教)

<幹事>

鈴木博文さん (IKI IKI ライフクラブ)  
新田晃久さん (林野関連退)  
畑木正雄さん (JT 関連退)

<会計監査>

宮崎 縣さん (JT 関連退)

会派(立憲・社民) 10月31日  
税制改正ヒアリングに参加

10月31日、23年度税制改正に関する会派(立憲・社民)厚生労働部門のヒアリングが行われ、退職者連合からは人見会長、北村副会長、川端常任幹事ほか事務局が参加。立憲民主党からは早稲田ゆき衆院議員(厚労部門長)ほか、川田龍平参院議員、中島克仁衆院議員が対応し、会場参加の柚木道義衆院議員ほか、ウェブでも多くの議員が視聴されました。

冒頭、人見会長が「来年度予算では防衛費の引上げが言われているが、社会保障の抑制につながることを非常に危惧している」とあいさつ。早川副事務局長から、政策制度要求に沿って、「勤労所得と金融所得の総合課税、法人税の国際的な引き下げ競争・租税回避の防止、所得税・法人税と消費税の適切な分担」などを要請しました。

柚木議員から「マイナカードの健康保険証一体化はどう考えるか。下手をすると国民健康保険のフリーアクセスが崩壊する。また、後期高齢者医療制度の2割自己負担はどう考えるか」との質問があり、早川副事務局長が「組織的な討議はまだだが、医療情報とマイナカードとの紐づけは慎重にすべき」と応えました。また、川端常任幹事からは「社会保険における応能負担は社会保障制度審議会の議論に立ち返り、窓口負担ではなく保険料でやるのが原則である」との発言がありました。



右から早稲田ゆき、川田龍平両議員 左から前列 人見会長、北村副会長、早川副事務局長 後列 大内副事務局長、川端常任幹事